

第12回

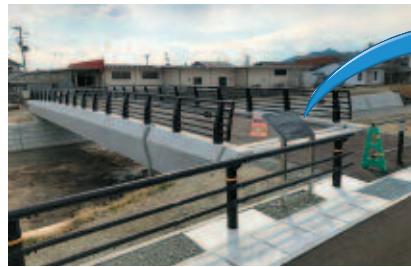
東日本大震災被災地の福島県新地町に「四日市橋」ができました

本市では、平成23年3月11日に発生した東日本大震災の復興支援として、震災の翌年の平成24年4月以降、福島県相馬郡新地町役場へ土木職員を派遣しています。現在まで延べ4人の職員を派遣しており、それぞれ1～2年間、新地町や新地町役場がある中心市街地の復興に向け、土地区画整理事業などに携わっています。

この復興事業の一環として人道橋が造られ、「四日市橋」と名付けられ

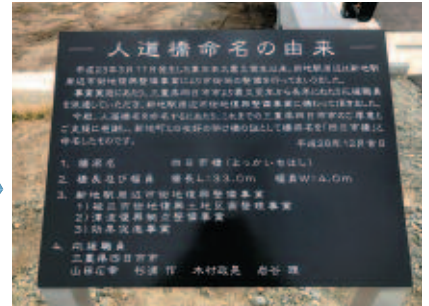
ました。案内板には由来として「これまでの四日市市の厚意と支援に感謝し、新地町との友好の架け橋の証として命名した」と記され、派遣職員4人の名前も付されています。

この事業は今年度完了予定であるため、本市からの職員の派遣も終わ



砂子田川に架かる人道橋「四日市橋」

りますが、派遣職員の復興支援を通じた経験は、今後の本市における災害対応に役立つものと期待されます。



橋の命名の由来が書かれた案内板

問い合わせ先
都市計画課
(☎354-8214 FAX354-8404)



市内各地で開催されたイベントなどを写真と文章で紹介するコーナーです。



富洲原四・九の市 (12月29日)

年の瀬ということもあり、正月の食材や植物などを求める人で大変なにぎわいでした。

この12月からは、市民公園や川越町などで開かれるマルシェに出店しているグループも参加しており、この日は、いなり寿司や揚げパンなどを販売しました。今後、毎月29日に開催する予定とのことで、新たなにぎわいの創出が期待されます。



ふれあい餅つき大会 (1月13日 下野小学校)

PTAの主催で、土曜授業に合わせて開催されました。地域の皆さんに手ほどきを受けながら、4年生以上が餅つきを体験し、「よいしょ」の声が小学校の中庭に響いていました。ついた餅は全児童に配られ、みんなでおいしくいただきました。

楽寿会やまちづくり委員会などの協力もあり、地域のつながりが感じられる一日になりました。

有料広告掲載欄

三重のニュース
いっぱい!

伊勢新聞

本社：津市本町34番6号 PC・スマホ・タブレットで
☎059-224-0003 伊勢新聞 検索

●購読のお申し込みは、お近くの販売店へ。●

